

人権、雇用と命、教育を守る 千葉県政を



浅野ふみ子県議は12月4日、初の一般質問で「多様性尊重」条例案、経済対策、高齢者の尊厳を守る介護、子育て世帯と学生の負担軽減、市川・派川大柏川治水対策を質しました。

男女の賃金格差を是正は急務 時給1500円に引き上げを

浅野県議は、非正規雇用を拡大した人件費カット、消費税増税と法人税減税、社会保障制度の連続改悪をすすめた自民党政治によって日本経済が後退・衰退したと指摘。賃金カットと非正規拡大で暮らしが追い詰められてきた、と強調しました。

千葉県は2010年度の知事部局の職員総数は8814人。昨年度は9745人に増えています。一方、時間外手当を除く人件費決算額は803億円から703億円に減少。非常勤職員、会計年度職員の増加が要因の一つです。

男性給与に対する女性給与の割合は84.3%。定年まで38年間務めた場合、女性職員は男性職員よりも1600万円から1700万円程度少なくなります。(県資料をもとに試算)

浅野県議は、同一価値労働同一賃金があたりまえ。男女の賃金格差の是正、女性が多い非常勤、会計年度任用職員の時給1500円への引き上げを求めました。県は「(会計年度任用職員は)常勤職員給与表を基礎にした適正な金額」と強弁しました。



給食費完全無償、子育て支援給付金の継続、拡充を

義務教育での給食費負担は約35万円で学校でかかる費用の3割。現在、県内53市町村で何らかの無償化を実施しています。県の第3子以降無償化は一步前進ですが、第二歩目の拡充を求めました。

東京都は0歳から18歳に年間6万を所得制限なしで支給。千葉県は今年度、小1から高1まで1万円一回きり。さらなる拡充の決断を迫りました。

「多様性尊重」条例案

「人権を守る」ことを明記すべき

骨子案(9月)パブリックコメント(669人1279件)で寄せられた「活躍、活力の言葉が目立つが、人権尊重が土台にあつてこそ、誰もが自分らしく生きられ活躍できる」などの声は無視されました。何のためのパブコメだったのか、厳しく指摘しました。

男女共同参画条例を包含、と言うが、国の「基本法」は、男女の人権尊重、政策立案への参画、家庭生活と社会活動の両立などを謳っている。条例案のどこに包含されているのか、質しました。

県は「条例案2条で男女が性別を理由とする不利益を受けることなく…規定」と、とのべました。

浅野県議は「人権に配慮するというなら条例案に書くべき。いったん取り下げて、差別禁止、ジェンダー平等の実効性あるものの再提出を」と要求しました。

一回目の
質問全文 ⇒



浅野さん、堂々としてた。
とても初質問とは思えないよ
(他会派の県議)



加藤 英雄
(柏市)
総務防災常任委員



丸山 慎一
(船橋市)
県土整備常任委員



みわ 由美
(松戸市)
健康福祉常任委員



浅野ふみ子
(市川市)
文教常任委員